

会議録

会議の名称	北部地区小学校統合準備委員会 第3回 通学・安全部会
日時	平成29年6月1日(木) 午後6時30分～午後7時40分
会場	平岡小学校 2階 視聴覚室
出席者	<ul style="list-style-type: none">・出席者 14名 (欠席者 武田利彦)部会長 池田信一 職務代理 小林妙子委員 長張むつ美、鈴木紀代子、須藤賢司、山崎麻希、 岩下定秀、佐藤嘉男、宮澤和三、須藤克昌、佐藤秋穂、 宮澤俊樹、松井真由美・事務局職員小林学校教育課長、阿藤学校教育課長補佐兼総務係長、 田中副主幹、池田指導主事
次第	<ol style="list-style-type: none">1 開会2 部会長あいさつ3 会議事項<ol style="list-style-type: none">(1) 通学方法等について(2) 次回の日程について4 その他5 閉会
その他	添付資料 資料1 検討事項一覧 資料2 中野地区小中学校通学路図

(1) 通学方法等について

距離、道路事情等を考慮し、行政区ごとの通学方法について検討した。

【主な意見等】

○集約した意見の報告

- ①倭地区：どの地区も、4^{キロメートル}の基準を超えている。また、柳沢は、4^{キロメートル}に満たない場所もある。また、赤岩地籍から児童もいる。倭小に通っている。そのあたりも考慮していくことが必要である。登校班で通学している。長野電鉄木島線のバスのバス停を集合場所としている。これを基準に、登校班を編成していくことが必要である。
- ②科野地区：結論から申し上げて、赤岩、深沢、越すべて4^{キロメートル}未満だが、スクールバスでの通学が必要である。理由の1番目は、通学路を整備するという確約がない限り徒歩通学はできないということである。次に2番目、人数が少ない地区があり、登校班が組めないことで危険があるという理由である。低学年と高学年で、下校時刻が異なることから、下校時に、1人ないし2人という少ない人数での下校が考えられる。このため、全地区スクールバスでの通学が適当と考える。
- ③平岡地区：竹原区の低学年は、長丘地区に近い、若宮区の児童や科野地区に近い笠原、金井区の児童、現状徒歩通学だが、厳しい。現実に保護者の要望はどうか。把握できていない。保護者の要望を聞く機会が必要ではないかとなった。前回は要望したが、今回の会議で取り扱われていない。
- ④長丘地区：全体が2～4^{キロメートル}の範囲であるが、現状は、国道292号の西側に通学路がある。今後は、国道292号を横断するようになる。通学路に指定できるのは、壁田の信号から県道壁田松崎線である。田麦区は、田麦の信号から若宮西までの市道は、歩道がない。また、人の往来もほとんどない。不安である。信号は田麦と壁田の2か所である。

厚貝区は

県道中野豊田線で笠倉

小学生が、国道を渡るのは、不安が大きい。一端、長丘小学校まで歩き、そこから新しい小学校まで、バスで通学ということが考えられる。また、バス停は、1つとして、長丘小学校1か所とする案、もう1つの案として、古牧、壁田は、壁田研修センター、田麦、厚貝は、ふれあいセンターひまわりに集合することが可能かと考えている。また、田麦信号から若宮西信号までの間は、集落がないこと、歩道がないことから、小学生の徒歩通学は不安である。

通学路に

越橋を渡ってどこが、高社大橋を渡ってから
国道292号を安全に横断できれば、

【今回のまとめ】

- ・今回出された通学方法とその課題を整理し、次回最終確認を行う。
- ・次回危険個所を確認しながら、倭、科野、長丘地区の通学路を検討する。

(2) 次回の日程について

日時 平成29年6月20日(火) 午後6時30分から
場所 北部公民館